

セラチア・マルセッセンス由来の不動化リパーゼ-A、組換え型

Cat. No. NATE-1621

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 リパーゼ (EC 3.1.1.3) は、脂肪や油の加水分解を触媒する普遍的な酵素です。セラチア・マルセッセンスのリパーゼは、トランス-3-(4-メトキシフェニル) グリシジン酸メチルエステル [(±)-MPGM] の生体触媒的加水分解における優れたエナンチオ選択性で認識されており、ジルチアゼム塩酸塩の合成における重要な中間体である (2R, 3S)-3-(4-メトキシフェニル) グリシジン酸メチルエステル [(-)-MPGM] を生成します。

別名 リパーゼ

製品情報

種 セラチア・マルセッセンス

由来 E. コリ

形態 滅菌フィルター処理された凍結乾燥粉末

EC番号 EC 3.1.1.3

CAS登録番号 9001-62-1

分子量 65 kDa

純度 >90%

溶解度 凍結乾燥されたリパーゼ-Aを無菌の10%-50% DMSO、イソプロピルエーテル、石油エーテル、エタノール、アセトン、イソプロパノールで再構成することを推奨します。

単位定義 リパーゼ活性の1単位は、1分あたり1.0 μmolのp-ニトロフェノールを放出する酵素の量として定義されました。

保管・発送情報

安定性 リパーゼ-Aは室温で1週間安定していますが、-18°C以下で乾燥した状態で保存する必要があります。長期保存のためには、キャリアタンパク質 (0.1% HSAまたはBSA) を追加することをお勧めします。凍結-解凍サイクルを防いでください。